

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149744号
(U3149744)

(45) 発行日 平成21年4月9日(2009.4.9)

(24) 登録日 平成21年3月18日(2009.3.18)

(51) Int.Cl.

F 1

G 0 9 F 3/10 (2006.01)

G 0 9 F 3/10 J

B 6 5 D 25/20 (2006.01)

G 0 9 F 3/10 H

B 6 5 D 25/20 Q

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2009-408 (U2009-408)
(22) 出願日 平成21年1月30日(2009.1.30)(73) 実用新案権者 508309670
中越スーヅ株式会社
富山県砺波市中神280-4
(74) 代理人 100089886
弁理士 田中 雅雄
(72) 考案者 岩川 熙
富山県砺波市中神280番4号 中越スー
ヅ株式会社内

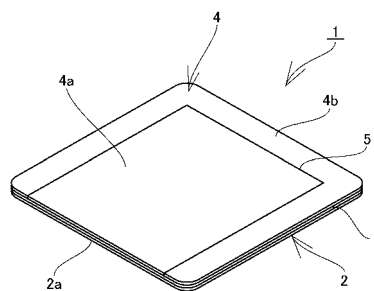
(54) 【考案の名称】 リサイクル瓶用ラベル

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】安価に実施可能であり、ガラス製リサイクル瓶使用後に簡単に剥がすことができるリサイクル瓶用ラベルを提供する。

【解決手段】表面に適宜表示を施したラベル基材2の裏面の全面に接着剤層3を備え、該接着剤層3の表面を剥離紙4にて被覆し、該剥離紙4を剥がすことによって裏面に露出した接着剤層3により、前記ラベル基材2をリサイクル瓶の表面に貼着するリサイクル瓶用ラベル1において、前記剥離紙4に該剥離紙4の中央側残置部4aと周縁側剥離部4bとに切り離した背割り線5を備え、前記剥離紙4の背割り線5よりラベル基材2外縁側の周縁側剥離部4bを剥離することによって、前記ラベル基材2の縁部裏面のみの接着剤層3を露出可能にした。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

表面に適宜表示施したラベル基材の裏面の全面に接着剤層を備え、該接着剤層の表面を剥離紙にて被覆し、該剥離紙を剥がすことによって裏面に露出した接着剤層により、前記ラベル基材をリサイクル瓶の表面に貼着するリサイクル瓶用ラベルにおいて、

前記剥離紙に該剥離紙の中央側残置部と周縁側剥離部とに切り離した背割り線を備え、前記剥離紙の背割り線よりラベル基材外縁側の周縁側剥離部を剥離することによって、前記ラベル基材の縁部裏面のみの接着剤層を露出可能にしたことを特徴とするリサイクル瓶用ラベル。

【請求項 2】

前記背割り線は、ラベル基材の上縁部裏面及び両側縁部裏面に沿ってコ字状配置に形成し、前記周縁剥離部が、ラベル基材の裏面の下縁を除く左右両縁及び上縁に跨って連続したコ字状に形成されている請求項 1 に記載のリサイクル用ラベル。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、主にリサイクルされるガラス瓶に貼着して使用するラベルであって、貼着した瓶から容易に剥離可能なリサイクル瓶用ラベルに関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、ガラス瓶に貼着されるラベルは、必要な表示を施したラベル基材の裏面に接着剤層を有し、その接着剤層の表面を剥離紙で覆っておき、ラベルを貼り付ける際には剥離紙を剥がして接着剤層の表面を露出させた後に、ガラス瓶に貼着している。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

近年、リサイクル志向の高まりとともに、ガラス瓶の再利用が求められている。

【0004】

ガラス瓶のリサイクル方法として、洗浄し再び使用するリターナブル瓶と、碎いてカレット（ガラス原料）にし、再び瓶に形成するワンウェイ瓶がある。

【0005】

どちらのリサイクル方法に於いても、使用済みガラス瓶に貼着されたラベルを剥がすことが必要となっている。

【0006】

しかし、上述の如き従来技術では、使用済みガラス瓶からラベルを剥がす際に、ラベル裏面全面が貼着されていることで剥がし難く、ガラス瓶にラベルが残ってしまうという問題があった。

【0007】

そこで本考案は、上述の従来技術の問題を鑑み、安価に実施可能であり、ガラス製リサイクル瓶使用後に簡単に剥がすことができるリサイクル瓶用ラベルの提供を目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0008】**

上述の如き従来問題を解決し、所期の目的を達成するための請求項 1 に記載の考案の特徴は、表面に適宜表示施したラベル基材の裏面の全面に接着剤層を備え、該接着剤層の表面を剥離紙にて被覆し、該剥離紙を剥がすことによって裏面に露出した接着剤層により、前記ラベル基材をリサイクル瓶の表面に貼着するリサイクル瓶用ラベルにおいて、前記剥離紙に該剥離紙の中央側残置部と周縁側剥離部とに切り離した背割り線を備え、前記剥離紙の背割り線よりラベル基材外縁側の周縁側剥離部を剥離することによって、前記ラベル基材の縁部裏面のみの接着剤層を露出可能にしたことにある。

【0009】

10

20

30

40

50

請求項 2 に記載の考案は、請求項 1 の構成に加え、前記背割り線は、ラベル基材の上縁部裏面及び両側縁部裏面に沿ってコ字状配置に形成し、前記周縁剥離部が、ラベル基材の裏面の下縁を除く左右両縁及び上縁に跨って連続したコ字状に形成されていることにある。

【考案の効果】

【0010】

本考案に係るリサイクル瓶用ラベルは、ラベル基材裏面の接着剤層を覆う剥離紙に、該剥離紙の中央側残置部と周縁側剥離部とに切り離した背割り線を備え、前記剥離紙の背割り線よりラベル基材外縁側の周縁側剥離部を剥離することによって、前記ラベル基材の縁部裏面のみの接着剤層を露出可能にしたことにより、ガラス瓶に貼着させると貼着面がラベル縁側のみとなることにより貼着面が少なく、全体の接着力が弱いために剥がし易い。更に従来使用されている剥離紙付ラベルの剥離紙に背割り線を加えるのみであることから、安価で実施が可能である。

10

【0011】

また、前記背割り線は、ラベル基材の上縁部裏面及び両側縁部裏面に沿ってコ字状配置に形成し、前記周縁剥離部が、ラベル基材の裏面の下縁を除く左右両縁及び上縁に跨って連続したコ字状に形成されていることにより、ラベルを剥がす際はラベルの貼着されていない下縁部からラベル裏面に指等を入れることができ、剥離作業が容易である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0012】

20

次に本考案に係るリサイクル瓶用ラベルの実施の形態を図 1 ～ 図 4 に基づいて説明する。

【0013】

図 1、図 2 は、本考案に係るリサイクル瓶用ラベルの一例を示し、図中符号 1 はリサイクル瓶用ラベルである。

【0014】

リサイクル瓶用ラベル 1 は、表面に適宜表示施したラベル基材 2 と、ラベル基材 2 の裏面の全面に接着剤層 3 を備え、接着剤層 3 の表面を剥離紙 4 にて被覆しており、剥離紙 4 を剥がすことによって裏面に接着剤層 3 が露出し、ラベル基材 2 をリサイクル瓶 A の表面に貼着することができる構造になっている。

30

【0015】

剥離紙 4 は、一方の端から始まり同一方の端で終わるようラベル基材 2 の上縁部裏面及び両側縁部裏面に沿ってコ字状配置に形成された背割り線 5 を有しており、背割り線 5 によって中央側残置部 4 a と周縁側剥離部 4 b とに切り離されている。

【0016】

背割り線 5 は、リサイクル瓶用ラベル 1 の裏面からラベル基材 2 を残して剥離紙 4 に入れた切込である。

【0017】

周縁側剥離部 4 b は、背割り線 5 によって剥離紙 4 の下縁を除く、左右両縁及び上縁に跨って連続したコ字状に形成されており、周縁側剥離部 4 b を剥離することによって、ラベル基材 2 の下縁部 2 a を除く縁部の裏面のみの接着剤層 3 を露出可能になっている。

40

【0018】

次に、このリサイクル瓶用ラベル 1 の貼着方法及び、剥がし方について説明する。

【0019】

リサイクル瓶用ラベル 1 裏面の剥離紙 4 の周縁側剥離部 4 b のみを背割り線 5 より剥離させ、ラベル基材 2 の下縁部 2 a を除く縁部の裏面のみの接着剤層 3 を露出させる。剥離紙 4 の中央側残置部 4 a を残したままの状態、図 3 に示すようにリサイクル瓶 A の所定に位置に貼着する。

【0020】

剥離紙 4 の中央側残置部 4 a を残したままの状態であっても、ラベル基材 2 の下縁部 2

50

aを除く縁部が貼着していることから、外見は裏面全面を貼着する従来のラベルと比べても遜色ない状態で貼着可能である。

【0021】

使用済みリサイクル瓶Aからリサイクル瓶用ラベル1を剥がす際は、貼着されていないラベル基材2の下縁部2aの裏面、即ち中央側残置部4aの下側から指等を挿入し、引き剥がす。リサイクル瓶用ラベル1の裏面に指等を挿入できることで剥がし取る作業が容易であり、貼着面もラベル基材2の下縁部2aを除く縁部裏面のみと少なく、全体の接着力が弱いために剥がし易くなっている。

【0022】

また、上述の実施例では、貼着されていないラベル基材2の縁部を下縁部としたが、リサイクル瓶用ラベル1の裏面に指等を挿入することができればよく、貼着方向は適宜変更してよい。

10

【0023】

尚、上述の実施例では、リサイクル瓶用ラベル1が長方形形状をしている例について説明したが、図4(a)、(b)に示すように剥離紙4に、背割り線5で切断された中央側残置部4aと周縁側剥離部4bとを備えていればラベル形状はどんな形でもよい。図4(a)、(b)は、上述の実施例と同様の部分には同一符号を付している。

【図面の簡単な説明】

【0024】

【図1】本考案に係るリサイクル瓶用ラベルの裏面を示す斜視図である。

20

【図2】図1中のリサイクル瓶用ラベルを示す断面図である。

【図3】図1中のリサイクル瓶用ラベルの貼着状態を示す正面図である。

【図4】本考案に係るリサイクル瓶用ラベルの他の一例を示す正面図である。

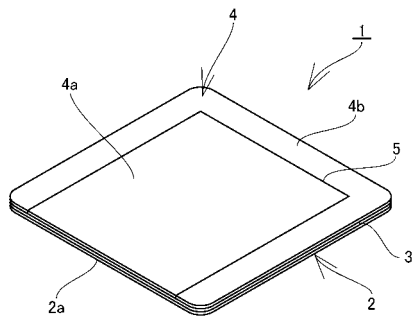
【符号の説明】

【0025】

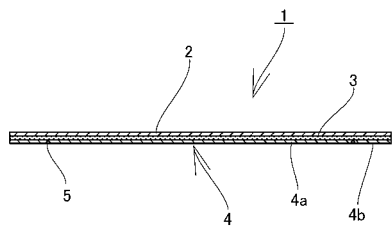
- A リサイクル瓶
- 1 リサイクル瓶用ラベル
- 2 ラベル基材
- 2a 下縁部
- 3 接着剤層
- 4 剥離紙
- 4a 中央側残置部
- 4b 周縁側剥離部
- 5 背割り溝

30

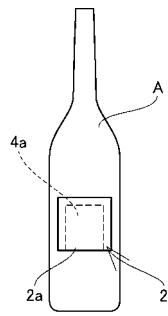
【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】

